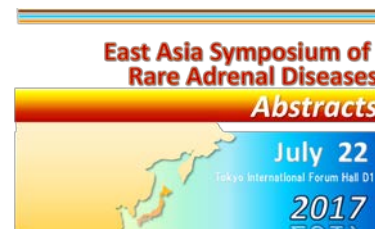


East Asia Symposium of Rare Adrenal Diseases 開催報告



催事名：East Asia Symposium of Rare Adrenal Diseases
日時：2019年7月22日（土）13：00～18：00
場所：東京国際フォーラム ホールD1
Theme：わが国の希少・難治性疾患対策のグローバル化

主催：日本医療研究開発機構研究費（難治性疾患実用化研究事業）「重症型原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築」“Advancing Care of Primary Aldosteronism in Japan Study”

-Japan Primary Aldosteronism Study (JPAS)-研究班

協賛：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

共催：厚生労働省難治性疾患政策研究事業

国際医療研究開発事業 難治性副腎疾患の診療の質向上と病態解明に関する研究研究班

後援：日本内分泌学会、公益財団法人 先端医療振興財団

目的

- 1) わが国の難治性副腎疾患対策のグローバル化
- 2) 東アジア諸国における難治性・希少副腎疾患対策の推進
- 3) 研究プラットフォームとしての east ASIA Adrenal Consortium と Global Registry の構築

-----報告-----

参加者数 約 90 名

海外：16 名（中国、韓国、台湾、マレーシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド、米国）

開催内容

アジアの研究者からは各国の副腎疾患に関する研究および診療の実情を踏まえた講演がされた。次いで、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長 末松 誠先生、公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター センター長 福島 雅典先生から、包括的医学研究の取り組みと今後の課題、わが国の国際連携の状況についてご講演いただいた。

最後に当研究班からわが国の原発性アルドステロン症に関する研究、およびわが国の副腎疾患研究の現状について発表、未来に向けた疾患対策研究について、国際連携特にアジア諸国との学術面、更に行政・企業の連携の重要性について講演を行った。

本シンポジウムの開催は東アジア諸国での診療水準の向上と標準化、わが国の難治性副腎疾患の診療水準向上、研究のグローバル化と国際貢献の促進に少なからず貢献し得たと考えられる。

以上



企画・開催責任者

日本医療研究開発機構研究費（難治性疾患実用化研究事業）

重症型原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築 研究班

研究開発代表者 成瀬 光栄（国立病院機構 京都医療センター）